

いいちこ日田蒸留所製造部門サマータイム制テスト導入について

【背景】

日田市は昨年猛暑日62日で歴代最多記録、今年も猛暑や酷暑が予想され、すでに熱中症警戒アラートの運用も開始されています。また夏場の日田蒸留所製造現場(特に製麹エリア)は毎日WBGT指数が31℃以上の危険指標となっており熱中症対策の必要を感じています。

* 暑さ指数(WBGT(湿球黒球温度)は、人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい ①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。

【課題】

- ・ 去年は熱中症の発症には至らなかったが体調不良による早退者が数回あった。
- ・ 自己申告書に熱中症対策を要望する意見があるが、対策が進んでいない。

【テスト導入内容】

- 勤務時間: 7:00～16:00 ※始業時間を1時間前倒し
- 対象 : 製造、保全部門
- 効果 : ①猛暑時間帯作業削減 ②健康リスク低減 ③生産性安定 ④省エネ・コスト抑制
- 期間 : 2026年8月1日～12日
- 検証 : ①熱中症件数(体調不良者) ②生産/残業状況 ③電力使用量 ④従業員アンケート

【目的: 人間価値A2働きやすい環境の整備】

サマータイム制をテスト導入して今後の夏場の三和酒類の働き方改革や職場環境改善を検証するとともに、テスト事例として日田市にもフィードバックすることで地域貢献も目的とする。

* 日田商工会議所ではサマータイム委員会を発足し対策を検討しており、各企業に取り組みを求めています。

暑さ指数 (WBGT)	注意すべき 生活活動の目安	注意事項
危険 (31以上)	すべての生活活動で おこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。 外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 (28以上31未満)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25以上28未満)	中等度以上の生活 活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。
注意 (25未満)	強い生活活動で おこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。



いいちこ日田蒸留所製造部門サマータイム制テスト検証について

【検証】

- ①熱中症件数(体調不良者)確認
- ②生産/残業状況(残業前年対比)
- ③電力使用量(前年対比)
- ④従業員アンケート集計

【アンケート案】

制度に対する評価

Q1. サマータイム制について、全体的な満足度を教えてください。

☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ 普通 ☐ 不満 ☐ 非常に不満

Q2. 業務効率への影響について教えてください。

☐ 大きく向上した ☐ やや向上した ☐ 変わらない ☐ やや低下した ☐ 大きく低下した

Q3. ワークライフバランスへの影響について教えてください。

☐ 大きく改善した ☐ やや改善した ☐ 変わらない ☐ やや悪化した ☐ 大きく悪化した

Q4. 通勤面での効果を感じましたか。

☐ 非常に感じた ☐ やや感じた ☐ あまり感じなかった ☐ 全く感じなかった ☐ 該当しない具体的な影響

Q5. サマータイム制で良かった点を選択してください。

(複数回答可)☐ 涼しい時間帯に通勤できた ☐ 業務に集中しやすくなった ☐ 残業が減った ☐ 家族との時間が増えた
☐ 自己啓発や運動の時間が増えた ☐ 特になし ☐ その他()

Q8. サマータイム制で困った点を選択してください。

(複数回答可)☐ 朝の準備が大変だった ☐ 睡眠リズムが崩れた ☐ 取引先との時間調整が難しかった
☐ 家庭の事情と合わなかった ☐ 業務スケジュール管理が難しかった ☐ 特になし ☐ その他()

いいちこ日田蒸留所製造部門サマータイム制テスト検証について

【アンケート案】

今後の継続について

Q9. サマータイム制を今後も導入すべきだと思いますか。

☐ 継続導入した方がよい ☐ 条件付きで継続導入した方がよい ☐ どちらとも言えない ☐ 導入しない方がよい

Q10. 条件付き継続の場合、どのような改善が必要ですか。

(複数回答可) ☐ 開始時間の見直し ☐ 対象部門の限定 ☐ 実施期間の短縮 ☐ フレックスタイムとの併用

☐ 在宅勤務との組み合わせ ☐ その他()

自由記述

Q11. サマータイム制(熱中症対策)について、ご意見・ご要望があればご記入ください。ご協力ありがとうございました。皆様からいただいたご意見をもとに、より働きやすい職場環境づくりを進めてまいります。